

秋から二つの事業開始

「健康寿命日本一の横浜」へ

公明党横浜市会議員団

仁田まさとし

横浜市は生活習慣病に着眼した健康づくりの指針「健康横浜21」に基づき取り組むを進めています。衆

「健康寿命日本一」を指すものです。「日常生活に介護を要しない」平均自立期間を参考値

健康寿命は、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。2010年の調査で、横浜市の男性は70・

93歳、女性は74・14歳でした。健康寿命を延ばすことは南区が重点的に取り組むべき課題です。

秋から市は健康寿命を延ばすことにつながる二つの取り組みを始めます。

歩いてポイント

一つは、40歳以上の市民を対象に、健康機器メーカーなどと共同で行う「よこ

080・130。スタンプラリーももう一つは全市民を対象に11月から始まる「よこはま健康スタンプラリー」事業です。市が指定する運動や健康づくりに関係する

スタンプラリーも

私はい前から市会で「健康づくり事業は民間事業者と連携して行うべき」と主張してきました。今後も地域関係団体なども連携していきながら、事業を進めていくべきです。

「がん撲滅条例」施行

日本人の3人に1人の命を奪う「がん」の撲滅へ向けた責務を定義し、予防や早期発見につなげようというものです。

私ほこれからも健康に関する取り組みを進め「健康寿命日本一」を目指します。



仁田まさとし プロフィール

- 横浜市会副議長
- 市民・文化・観光・消防委員会
- 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会
- ◇施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- Facebook 情報発信中

商品券などがもらえ、楽しんで健康づくりがで

条例は市や市民、保健